

公益財団法人浜松市医療公社第8期（令和2年度）事業報告について

1 事業概要

第8期（令和2年度）は、公益財団法人移行の8年目で、予期せぬ新型コロナウイルス感染症のパンデミックに翻弄された年度となり、第二類感染症指定医療機関として役割をもつ当院は、新型コロナウイルス感染症患者の対応だけでなく、西部地域の急性期病院として全ての患者に安心して医療提供ができる診療体制の構築を行った。動線や病棟・病室の明確な区分設定、PCR検査の実施、陰圧システム等の医療機器整備等、感染防止対策の徹底を図り、新型コロナウイルス感染症重点医療機関として感染症対応の取り組みを行った。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい経営環境の中であっても、施設基準の上位基準の取得や全職員から経営改善提案を募る等、目標及び課題を共有し柔軟かつ迅速に経営改善に取り組むとともに、手術支援ロボット（ダビンチ）によるがん手術や高気圧酸素治療装置の2台目導入による治療の拡充等、高度・専門医療の提供についても着実に取り組み、「職員一丸」となって事業の推進に努めた。

2 主な事業内容

（1）入院に関する業務

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応するため、一般病床を新型コロナウイルス感染症患者受け入れ専用病棟として35床を設置し、512人の新規感染症患者の受け入れを行った。一方では、新型コロナウイルス感染症の影響により救急患者や紹介患者が減少となり、令和元年度入院患者延べ数より15,605人減少の169,813人となり、令和2年度計画値を17,432人下回った。また、病床利用率は令和元年度より7ポイント減少の77.4%となり、平均在院日数は、令和元年度より0.6日延伸し13.3日となった。

【評価指標】

項目	R2年度計画 (A)	R2年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	R1年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
入院患者延べ数	187,245人	169,813人	90.7%	185,418人	△15,605人
1日平均入院患者数	513人	465人	90.6%	507人	△42人
病床利用率	85.5%	77.4%	90.5%	84.4%	△7.0P
平均在院日数	12.3日以下	13.3日	—	12.7日	0.6日

〈前年度と比較して増減のあった主な診療科〉

診療科	令和2年度(A)	令和元年度(B)	増減(A-B)
脳神経内科	4,496人	791人	3,705人
整形外科	22,590人	20,492人	2,098人
呼吸器内科	14,692人	18,764人	△4,072人
産婦人科	7,388人	10,127人	△2,739人
小児科	3,429人	6,025人	△2,596人
感染症内科	528人	3,064人	△2,536人

(2) 外来に関する業務

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、帰国者接触者外来を設置し、感染症を疑う市民に対して PCR 検査を実施した。一方では、新型コロナウイルス感染症の警戒から外来患者の受診控えがあることに加え、感染予防行動の定着により感染症疾患が減少した。

その結果、令和元年度外来患者延べ数より 23,308 人減少の 228,846 人となり、令和元年度計画値を 27,519 人下回った。

【評価指標】

項目	R2 年度計画 (A)	R2 年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	R1 年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
外来患者延べ数	256,365 人	228,846 人	89.3%	252,154 人	△23,308 人
1 日平均外来患者数	1,055 人	942 人	89.3%	1,051 人	△109 人

〈前年度と比較して増減のあった主な診療科〉

診療科	令和 2 年度(A)	令和元年度(B)	増減(A-B)
感染症内科	4,856 人	3,582 人	1,274 人
脳神経内科	2,383 人	1,747 人	636 人
小児科	15,535 人	19,595 人	△4,060 人
呼吸器内科	9,922 人	12,806 人	△2,884 人
産婦人科	15,954 人	18,598 人	△2,644 人
歯科口腔外科	12,337 人	14,631 人	△2,294 人

(3) 救急医療に関する業務

新型コロナウイルス感染症の拡大から、外出の自粛や他者との接触減等に繋がり救急患者発生数の減少となった。転倒による救急患者は増加傾向にあるが、令和元年度救急搬送受入患者数より 954 人減少の 5,558 人となり、令和元年度計画値も 1,042 人下回った。

また、院内クラスター発生の状況から、3 月に二次救急医療及び三次救急医療の提供体制を停止することとなり、その結果、令和元年度救急患者数は 3,373 人減少の 10,028 人となった。

【評価指標】

項目	R2 年度計画 (A)	R2 年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	R1 年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
救急搬送受入患者数	6,600 人	5,558 人	84.2%	6,512 人	△954 人
救急搬送患者応需率	90.0%	89.5%	99.4%	88.3%	1.2P

(4) 小児・周産期医療に関する業務

地域の周産期医療を担う拠点病院として、積極的に分娩の受け入れを行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響から、立ち会い分娩、里帰り分娩の制限等を余儀なくされ、平時のような出産が望めないことから当院にて分娩を希望することに慎重となる傾向が見られた。その結果、平成元年度分娩件数より 210 件減少の 653 件となり、令和元年度計画値も同様に 217 件下回った。

また、浜松市の休日当番診療のうち小児一次救急について、当院にて月1回の診療を実施し、浜松市の小児救急体制の一部を担当しているが、手洗いやマスクによる感染予防の定着により、感染症疾患（季節性インフルエンザ等）の減少に繋がり、小児救急患者が減少となった。

【評価指標】

項目	R2 年度計画 (A)	R2 年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	R1 年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
分娩件数	870 件	653 件	75.1%	863 件	△210 件

(5) がん診療に関する業務

地域がん診療連携拠点病院として、手術、薬物療法、放射線治療などによる質の高い診断、治療の提供を行っている中、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、予定入院や予定手術を延期する事態が生じた。患者や家族に対して必要な感染防止の対策を当院が講じていることを説明するとともに、治療中断が発生しないよう主治医を中心としてチーム医療で継続診療への働きかけと患者が不安にならないよう心のケアに努めた。

また、がんゲノム医療連携病院として、ゲノム診療センターを中心に、遺伝子パネル検査を実施し、がんゲノム医療の充実を図った。

【評価指標】

項目	R2 年度報告 (A)	R2 年度報告(B) (R1 年1~12 月)	計画達成率 (B)/(A)	R 年度報告(C) (H30 年1~12 月)	増減 (B)-(C)
院内がん登録数	950 件以上	967 件	101.8%	947 件	20 件

項目	R2 年度計画 (A)	R2 年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	R1 年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
悪性腫瘍の手術件数	590 件	545 件	92.4%	597 件	△52 件
がんに係る薬物療法 のべ患者数	1,500 人	1,578 人	105.2%	1,711 人	△133 人
がんに係る放射線治療 のべ患者数	200 人	211 人	105.5%	201 人	10 人
周術期口腔機能管理 計画策定料算定件数	480 件	475 件	99.0%	574 件	△99 件
緩和ケアチーム新規 介入件数	230 件	208 件	90.4%	231 件	△23 件
がん患者指導管理料 算定件数	850 件	3,164 件	372.2%	1,084 件	2,080 件
がんゲノム遺伝子 パネル検査件数	20 件	17 件	85.0%	9 件	8 件

(6) 急性心筋梗塞治療等の専門医療に関する業務

あらゆる専門的領域の外科的手術においても、新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底を図り、手術が制限される状況下でも緊急度・優先度を判断し適正に手術を実施したが、緊急を必要としない、眼科、歯科口腔外科、耳鼻いんこう科の手術件数が減少となり、令和元

年度と比較して 871 件減少の 5,623 件となった。全身麻酔件数も令和元年度より 284 件減少した。

また、コロナ禍で運営体制の整備が遅れていた手術支援ロボット（ダビンチ）による肺がん手術及び前立腺がん手術を実施し、高度医療の提供に努めた。

このほか、令和 3 年 1 月から高気圧酸素治療装置を 1 台増設し、治療実施体制を拡充し、突発性難聴や難治性潰瘍等の患者に対して効果的治療を提供した。

【評価指標】

項目	R2 年度計画 (A)	R2 年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	R1 年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
手術件数（手術室）	6,200 件	5,623 件	90.7%	6,494 件	△871 件
全身麻酔件数	2,350 件	2,156 件	91.7%	2,425 件	△269 件
経皮的カテーテル心筋 焼灼術件数	180 件	138 件	76.7%	159 件	△21 件
人工関節置換術（股・ 膝）件数	165 件	204 件	123.6%	161 件	43 件
高気圧酸素治療のべ 患者数	780 人	821 人	105.3%	174 人	647 人

（7）臓器・骨髄移植に関する医療

院内臓器提供チームを編成し、臓器移植コーディネーターと連携を図りながら、令和 2 年度は 7 月に 1 症例の臓器提供を実施（累計 11 症例）し、生前の患者本人、家族の意思表示を尊重した移植医療に貢献した。

（8）健診に関する業務

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度当初から特定健康診査（特定健診）受診者数が減少し、その結果、すべての健診項目において減少することとなった。健康診断は不要不急のイメージから受診を控えたままにならないよう健保組合や企業等と調整に努め、疾患の予防、早期発見を推進した。

【評価指標】

項目	R2 年度計画 (A)	R2 年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	R1 年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
特定健診	16,000 人	15,230 人	95.2%	16,286 人	△1,056 人
（再掲）人間ドック	780 人	758 人	97.2%	759 人	△1 人
胃がん検診	7,450 人	6,873 人	92.3%	7,602 人	△729 人
大腸がん検診	11,000 人	10,493 人	95.4%	11,174 人	△681 人
結核肺がん検診	15,700 人	14,743 人	93.9%	15,940 人	△1,197 人
子宮がん検診	3,450 人	3,233 人	93.7%	3,473 人	△240 人
乳がん検診	2,540 人	2,212 人	87.1%	2,609 人	△397 人

(9) 地域連携に関する業務

新型コロナウイルス感染症が拡大し、その警戒から開業医に対しての受診控えもあることから、感染症疾患等の紹介患者が減少した。

また、入院患者の面会制限を実施していることから、家族や介護支援専門員等の在宅支援者が、直接患者の病状や日常生活動作を確認することが困難となり、在宅支援者を交えた退院前カンファレンスを行う機会が減少したが、電話や文書等での情報共有やWeb会議の推進を図り、退院支援が停滞しないよう努めた。

【評価指標】

項目	R2 年度計画 (A)	R2 年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	R1 年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
紹介率	78.0%以上	73.2%	93.8%	77.4%	△4.2P
逆紹介率	75.0%以上	90.2%	120.3%	81.5%	8.7P
入退院支援加算算定 件数	3,800 件	4,004 件	105.4%	4,347 件	△343 件

(10) 臨床研究に関する業務

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、3 密対策や移動の制限が講じられており、多施設と共同で研究を行う臨床試験、臨床研究は、遅延或いは中断を余儀なくされ、その結果、治験実施件数及び臨床研究実施件数が減少となった。

(11) 医療安全、医療の質の向上に関する業務

ア 医療の質向上、医療安全の確保のため、医療安全推進委員会などの医療安全に関する会議を、感染予防に留意しつつ、求められている内容に限定して開催し、必要な安全対策を組織的に講じた。

イ 医療安全推進委員や現場安全管理者による医療安全ラウンドを行い、医療安全対策の実践状況の点検に努めた。

ウ インシデント・アクシデント報告、オカレンス報告（医療の質の指標となる事例報告）の報告制度をより一層の強化を図った。また、ヒヤリ・ハット（未然防止できた事例）報告の啓発に努めた。

エ Safty1（失敗事例）に加え、Safty2（成功事例）の事例についての報告を推進した。

オ 手術支援ロボット（ダビンチ）による高リスク手術又は処置を実施する際に、事前に治療適応、インフォームド・コンセントの内容、術中・術後の体制等を把握するとともに、組織として支援を行った。

カ 院内クラスター発生時において、対策本部を設置し、感染対策の徹底を強化するとともに、感染拡大が起きた病棟の患者関係及び職員に PCR 検査を実施し、「オール医療センター」で感染の封じ込めを職員一丸となって行った。

(12) 医療スタッフの確保・育成に関する業務

「救急医療」「がん医療」「高度専門医療」等の水準を維持・向上させるため、大学等関係機関との連携の強化や充実により、医師の育成、確保に努めた。

また、必要な研修医や看護師等を確保するため、コロナ禍であることを配慮し、Webを活用した説明会や面接等を積極的に実施するとともに、職員教育や人材育成に対し、オンデマンド研修やeラーニング研修を取り入れて、個々の技術の定着化を図った。

(13) 患者の療養環境の向上に関する業務

看護補助者を夜間帯に増員することにより、入院患者への関わり等を拡充し良好な医療サービスの提供に努めた。

また、受診患者を含め来院者すべてに対して、玄関にて発熱チェックを実施し、新型コロナウイルス感染症対策の環境作りに努めた。

(14) 収入の確保と費用の節減に関する業務

ア 収入の確保

- ① 地域の小児医療の中核的役割を果たすため、「小児入院医療管理料」の上位施設基準を取得し、約 23,600 千円の収入増加を図った。
- ② 急性期入院医療において看護補助業務の重要性が増しているため、「急性期看護補助体制加算」の上位施設基準及び「夜間看護補助体制加算」の新規施設基準を併せて取得し、約 93,700 千円の収入増加を図った。
- ③ CT、MRI 検査画像の読影結果を正確かつ迅速に主治医に報告する体制を整備したため、「画像診断管理加算」の上位施設基準を取得し、約 45,000 千円の収入増加を図った。
- ④ 診療報酬請求に関わるコンサルタントと各部署とが協力し、各種指導料等の算定件数増加に向けた取り組みを行い、約 94,700 千円の収入増加を図った。
- ⑤ 入院・外来患者に効果的な高気圧酸素治療を実施し、約 23,500 千円の収入増加を図った。

イ 費用の節減

院内各部署における定数配置薬の整理を行い、管理を充実させることにより、医薬品購入費の削減を図った。また、医薬品や診療材料の調達に関して、ベンチマークシステムを活用して更なる価格交渉を行うことにより購入価格を約 67,600 千円削減した。

【評価指標】

項目		R2 年度計画 (A)	R2 年度実績 (B)	R1 年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
給与費対医業収益率		50.9%以下	55.1%	51.2%	3.9P
材料費対医業収益率		27.7%以下	29.4%	28.6%	0.8P
主な内訳	薬品費	17.0%以下	18.6%	17.7%	0.9P
	診療材料費	10.0%以下	9.9%	10.1%	△0.2P

(15) 新病院建設に関する業務

令和 5 年度の開院を目指して、浜松市と設計・施工者と連携を図りながら、施工図の適正化と展開の効率化を確認しながら、設計内容の相互確認及び検討課題の抽出と解決方針の共有を図った。また、将来の事業拡充の展望を反映したプランの見直しを検討した。

(16) 医療と介護の連携推進事業の支援に関する業務

医療と介護の連携推進事業を支援するとともに、地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携強化に努めた。

(17) 職員の子ども及び地域の子どもに対する保育の提供に関する業務

看護師をはじめとする医療従事者の離職防止と子育て・仕事の両立支援、並びに地域における待機児童の解消を図るため、地域型保育事業の認定を受けたあゆみ保育園において、職員の子ども及び地域の子どもに対する保育の提供を行い、公立病院として地域を含めた働きやすい環境整備に努めた。

3 役員会開催実績

(1) 評議員会

① 第1回定時評議員会

日 時	令和2年6月25日(木) 午後1時30分
議事等	・理事の辞任に伴う補欠選任について ・評議員の辞任に伴う補欠選任について

② 第1回臨時評議員会

日 時	令和3年3月25日(木) 午後1時30分
議事等	・第8期(令和2年度)補正予算(第1号) ・令和2年度の退職給付引当金に関する覚書の締結について ・令和2年度浜松医療センターの管理に関する協定書の一部変更の締結について ・第9期(令和3年度)事業計画 ・第9期(令和3年度)収支予算 ・理事の辞任に伴う補欠選任について ・令和3年度～令和7年度浜松医療センターの管理に関する基本協定書の締結について ・中期事業計画(令和3年度～令和7年度)について ・令和3年度浜松医療センターの管理に関する協定書の締結について

③ 第2回臨時評議員会(決議の省略)

日 時	令和3年3月30日(火)
議事等	・監事の辞任に伴う補欠選任について

(2) 理事会

① 第1回臨時理事会(決議の省略)

日 時	令和2年4月1日(水)
議事等	・常務理事の選定について ・常務理事の選定について ・財産管理責任者の任命について ・資金運用執行責任者の任命について

② 第1回定例理事会

日 時	令和2年6月10日(水) 午後1時30分
議事等	・定時評議員会の招集について ・第7期(令和元年度)事業報告(案)について ・第7期(令和元年度)決算(案)について ・理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について ・評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について ・職員給与規程施行規則の一部改正について ・役員等の報酬について

③ 第2回定例理事会

日 時	令和2年9月16日（水）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市病院事業会計からの一時借入について ・令和2年度浜松医療センターの管理に関する協定書の一部変更の締結について

④ 第2回臨時理事会（決議の省略）

日 時	令和2年11月30日（月）
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員給与規程の一部改正について ・常務理事の選定について

⑤ 第3回定例理事会

日 時	令和2年12月9日（水）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規程の一部改正について

⑥ 第4回定例理事会

日 時	令和3年3月10日（水）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回臨時評議員会の招集について ・第8期（令和2年度）補正予算（第1号） ・令和2年度退職給付引当金に関する覚書の締結について ・令和2年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の一部変更の締結について ・特定費用準備資金取扱規程の制定について ・理事会運営規則の一部改正について ・特定費用準備資金の積立について ・第9期（令和3年度）事業計画について ・第9期（令和3年度）収支予算 ・資金運用の執行方針及び計画について ・理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について ・院長補佐の順序等及び院長補佐の事務分担を定める規則の一部改正について ・副院長の事務分担を定める規則の一部改正について ・令和3年度～令和7年度浜松医療センターの管理に関する基本協定書の締結について ・中期計画（令和3年度～令和7年度）について ・令和3年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の締結について ・組織規程の一部改正について ・あゆみ保育園運営規程の一部改正について ・職員就業規程の一部改正について ・業績特別手当について

⑦ 第3回臨時理事会（決議の省略）

日 時	令和3年3月24日（水）
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回臨時評議員会の招集について ・監事の辞任に伴う補欠選任候補者の選任について

⑧ 第4回臨時理事会（決議の省略）

日 時	令和3年3月29日（月）
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・退職手当支給規程の一部改正について ・職員給与規程の一部改正について ・職員の職名を定める規程の一部改正について ・専決規則の一部改正について

4 役員等に関する事項

(1) 理事、顧問及び監事（令和3年3月31日現在）

役 職	氏 名	現職等
理事長	山下 堅司	公益財団法人浜松市医療公社理事長
副理事長	海野 直樹	浜松医療センター院長
常務理事	西脇 由朗	浜松医療センター院長補佐
常務理事	矢野 邦夫	浜松医療センター院長補佐
常務理事	福田 哲巳	公益財団法人浜松市医療公社事務局長
理事	山本 清二	国立大学法人浜松医科大学理事・副学長
理事	林 卓司	一般社団法人浜松市医師会副会長
理事	小杉 和弘	浜松商工会議所専務理事・事務局長
理事	小出 幸夫	医療法人社団一穂会理事
理事	鈴木 達夫	浜松市健康福祉部医療担当部長
顧問	小倉 篤	前浜松市議会議員
監事	田中 範雄	公認会計士・税理士
監事	那須田 政廣	浜松市会計管理者

(2) 評議員（令和3年3月31日現在）

役 職	氏 名	現職等
評議員	滝浪 實	一般社団法人浜松市医師会会長
評議員	大野 守弘	一般社団法人浜松市歯科医師会会長
評議員	品川 彰彦	一般社団法人浜松市薬剤師会会長
評議員	鈴木 敏弘	弁護士
評議員	藤田 正治	浜松商工会議所副会頭
評議員	山下 昭一	浜松市健康福祉部長
評議員	西原 信彦	浜松市健康福祉部保健所長

(3) 会計監査人（令和3年3月31日現在）

役 職	氏 名	現職等
会計監査人	疋田 通丈	公認会計士・税理士

5 職員に関する事項

<職種別職員数：前年度比較>

職種	令和2年度末	令和元年度末	比較増減
医師	111人	111人	0
専修医	33人	27人	6
臨床研修医	21人	23人	△2
保健師	30人	32人	△2
助産師	61人	61人	0
看護師	485人	472人	13
薬剤師	37人	37人	0
診療放射線技師	27人	28人	△1
臨床検査技師	38人	36人	2
臨床工学技士	12人	11人	1
管理栄養士	8人	8人	0
理学療法士	15人	15人	0
作業療法士	7人	7人	0
言語聴覚士	2人	2人	0
臨床心理士	1人	1人	0
視能訓練士	3人	2人	1
歯科衛生士	3人	3人	0
遺伝カウンセラー	1人	0人	1
診療情報管理士	2人	3人	△1
事務員	55人	56人	△1
医療社会事業士	9人	8人	1
保育士	14人	11人	3
電気技師	1人	1人	0
業務員	5人	5人	0
合計	981人	960人	21

6 労働関係法令について

労働関係法令に基づき、適正に業務を履行しました。